

大人の島遊び しまとく通貨で 過ごす五島の旅

長崎の西方100kmに浮かぶ五島列島は大小合わせて140余りの島々が連なる。美しい自然とカトリック教会が多く残り、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を目指している。今こそお得な「しまとく通貨」を使って、五島の旅に出よう！



今なお受け継がれる祈り

下五島
五島市

受難と勝利のシンボル

折りの島と呼ばれる五島列島には51もの教会がある。その多くは、リアス式海岸の入り組んだ浦々や急峻な山あいの僻地の集落に建てられている。秀吉や江戸幕府による250年間に及ぶ長いキリシタン弾圧の時代にも満ち伏し、守り抜いた教会。明治に入り禁教が解かれた後、多くの教会が五島出身の建築家・鉄川与助らによって建てられ、現在でも訪れる人を魅了する。

福江港から県道162号を北へ走る。街中を抜けるとやがて道はエメラルドグリーン色の海に沿って続く。静かな入江に佇むレンガ造りの教会。それが堂崎天主堂だ。明治41年にフランス人のペルー神父が殉教者ヨハネ五島に捧げて建立した。ヨハネ五島は豊臣秀吉の命により長崎西坂で処刑された日本二十六聖人の一人。信者にとっては長い弾圧時代の受難と勝利のシンボルであり、巡礼者が絶えない。

こつもりが羽を広げているように見えることから、別名こつもり天井と呼ばれる木造アーチ式のリブヴォールト天井、尖塔アーチ片開きに博文様のステンドグラスをはじめ込んだ窓など、五島初の洋風建築の姿を誇る。

現在、教会内部は資料館を兼ね、マリア観音像やロザリオ、パテナ(聖体皿)、元帳(かくれキリシタン)資料、聖ヨハネ五島聖骨などが展示されている。ミサが行われるなど、今も敬虔な信者が礼拝を行っている。マナーには気を付けたい。穏やかな海がすぐそばにあり、教会敷地内の高台ではマリア像が天主堂をそっと見守っている。

教会の隣で、ふと小さな菓子工房noko、nokoを見つけた。作っているのはその名も「堂崎マドレーヌ」。五島の梅油と自然塩を使用し、しっとりとしてほんのり甘い。ペルー神父の故国フランス生まれの焼き菓子は、この教会にふさわしい。

夕映えのカトリック墓碑群

五島のキリスト教信仰は今も賑々と受け継がれている。そのため五島の旅の魅力の一



夕景の中の溪ノ元カトリック墓碑群は異国情緒が漂う。時代に翻弄されたキリシタンに思いを寄せ、静かに過ごしたい。

つは、先の堂崎天主堂をはじめ、権原教会、井持浦教会などさまざまな教会を見て回れることにある。そのしめくりにせひ立ち寄りたいたのが、測ノ元カトリック墓碑群だ。三井地区の海辺の一角にあり、十字架の墓碑やマリア像がひっそりと佇む。

洗礼名が刻まれた墓碑銘を一つ一つ読みながら、そこに生きて祈りを捧げた名もなき人々の歴史をしのぶ。やがて夕日に照らされて海が金色に輝き、墓碑が影絵のような黒色になる時、辺りは荘厳な宗教画のような世界に包まれる。五島は存在そのものが祈りの島なのだと思える瞬間である。



現地に着いたら早速、**「しまとく通貨」**を利用しよう。



さあ、目指すは五島列島へ！



船に、飛行機に乗る前に**「しまとく通貨」**を購入！

レンタカー料金も「しまとく通貨」での支払いがOK!
エコドライブで電気自動車も借りてもいいよ。(電気自動車は一部を除く。車種があります)
【加盟店レンタカー店】 五島タイヤ販売・トヨタレンタリース長崎 福江店・観光レンタカー 五島自動車(観光車・レンタカー) 福北レンタカー・ニッポンレンタカー九州五島支店 長崎支店・福江支店・チャンスレンタカー・レンタカー 池田レンタカー

博多港・長崎港・佐世保港・福岡空港・長崎空港で「しまとく通貨」が購入できます。1人3万円まで購入でき、最大6000円のプレミアに！
(販売店は長崎県内外約40か所。五島の各港、福江空港、道の駅道南ふるさと館等でも購入できます)

1セット6,000円分の「しまとく通貨」を、**20%のプレミアム 5,000円**で販売

しまとく通貨とは
簡単に言えば、長崎県内の複数のしま市町で共通に使用できる「プレミアム付き商品券」です。長崎県内の複数のしま市町という特定の地域内でのみ流通し、しまの加盟店において商品やサービスの購入ができるものです。

しまとく通貨が使用できるしま市町
●対馬市 ●小値賀町 ●壱岐市 ●新上五島町 ●五島市 ●佐世保市宇久町

ご購入場所
空港やターミナルなどに設置の販売店でご購入いただけます。※ご購入出来る方は、使用する店舗に住所を有する方です。

ご利用店舗
「しま」では、約1,000店舗の「しま加盟店」でご利用いただけます。※店舗によっては一部ご利用いただけない場合があります。

ご利用期間
ご購入日より6か月間有効なので使い切らなくても大丈夫です。※「しま」は1回限りで使ってもご利用いただけます。

注意事項
●旅行で乗船の準備をされる方が購入できます。●宿泊、お土産、お食事などに利用できます。●本券の発行期間は、ご購入日より6ヶ月です。●本券の購入は、1人1枚限定のセットまでです。●本券の使用に際し、おつりは出ません。●飛行機・船舶などの空港・船港での使用はできません。

五島の魅力、多彩に。

一日目の旅は城下町散策から始めよう。福江港から徒歩10分の場所に、全国でも類例を見ない石垣が残っている。二十二代藩主、五島盛利は中央集権体制を目指し、各地に散在していた豪族や藩士を福江の地に移り住ませた。中心部に上級武家屋敷、周辺部に中級武家屋敷、さらに商人町、職人町が形成された。最も保存状態のよい石垣は中級以下

の武士が住んでいた場所だ。溶岩塊を積み上げ、その上にこぼれ石という丸石を重ね、両端は薄鉄型の石で止められている。また、福江島は島の島でもある。それを実感できるのが香珠子ビーチにある五島植物産館での精油搾り体験だ。「五島は日本有数の精油の自生地で、440万本もありますよ。8月末から9月にかけて精油の収穫されます」と支配人の片山貴弘さん。精油は1kgの種からわずか60ccしか取れないという。体験では石臼で種を砕き、蒸籠で蒸して圧搾機で搾る。さらにそれをろ過する。搾った精油は持ち帰りに。女性には嬉しい旅土産にもなる。聞けば島のホテルの一部では精油のオイル

マッサージなどのエステもあるという。五島の旅では美しい海景色もぜひ目にした。例えば玉之浦エリアには、映画「悪人のクライマックス」のロケ地となった「大瀨崎灯台」がある。東シナ海の荒波を眺める島の最西端に位置し、堆積岩が作る地層の縞模様が見事。三井物産の「高浜海水浴場」は、日本一美しい砂浜と謳われている。白銀色の砂浜と極めて透明度が高い海の三方を山が囲んでいる。島だからこそ、この美しさを満喫できる。「しまとく」の価値は実はそこにあるのかもしれない。



石垣(福江島)

①五島の城下町として栄えた福江には江戸の面影を残す武家屋敷通りがある。散策途中に立ち寄れる「福江武家屋敷通りふるさと館」(☎0959-72-2083)には、お土産を求めながら休憩できる喫茶コーナーや物産コーナーがある他、五島の民芸品「ばらもん風」の袖付け体験や草木染め体験もできる。



②高浜海水浴場の周囲には人工的な建物や民家がなく、活本来の浄化力や生態系を保っている。シャワー・ロッカーなどの設備も充実。



大瀨崎灯台



福江屋



③



③高貴さの精茶屋では水いり、伊勢海老など新鮮な魚介類や庵毛和牛を贅沢に選り取り炭火で食べる。誇る伊勢海老6825円コース。
④自生した種の種から搾る五島の精油。肥料や農薬は一切使用しない正に天然のもの。種は長崎県の県花にもなっている。
精茶屋☎0959-73-5940

たちよりの道の駅

五島列島の風土と文化にふれながらゆったりと

道の駅遺唐使ふるさと館

遺唐使最後の寄港地だった五島三井菜の地にある道の駅。レストランや物産販売コーナーで「しまとく通貨」が利用できる。

展示コーナー、80名収容の研修室など設備が充実している。五島の自然を満喫できる360度パノラマの展望台も人気だ。駐車場には電気自動車急速充電専用駐車場も整備されている。

「遺唐使」と「万葉」をテーマに制作したオリジナルの映像を流す万葉シアターや



長崎県五島市三井菜町濱ノ野3150-1 ☎0959-84-3555
【時】9時～18時 / レストラン:ランチ11時30分～14時、ディナー(金・土・日・祝のみ)18時～20時
【休】12月31日、1月1日
【アクセス】福江港から国道364号を三井菜方面へ車で約30分 / 福江空港から国道364号を三井菜方面へ車で約35分

下五島へのアクセス

- 高速船で行く
【長崎港→福江港】約1時間25分
- フェリーで行く
【博多港→福江港】約9時間30分
- カーフェリーで行く
【長崎港→福江港】約3時間10分
- 飛行機で行く
【福岡空港→五島福江空港】約40分
【長崎空港→五島福江空港】約30分

島山島のシカ

島山島の人口よりかはるかに多い450～700頭の野生のニホンシカが棲んでいる。集落内や向小畑園地で草を食むかわいらしい姿を見ることが出来る。



五島列島

長崎県中津市 五島列島 福江島

「しまとく通貨」でゆったり気分 島の温泉・ホテル旅館

- 【加盟宿泊施設・温泉】
- カンパーナホテル ●五島バスターミナルホテル
 - 五島コンカナ王国 ●五島第一ホテル
 - ビジネスホテルシャトーイン福江 ●ビジネスホテル三田
 - ビジネスホテルラウンドイン ●ビジネスホテルサンコー
 - ホテルダウタウン ●ビジネスホテルさくら
 - 深瀬荘 ●中村旅館 ●旅館中本荘 ●旅館にしき荘
 - 富久屋旅館 ●福良旅館 ●奥居旅館 ●民宿あびる
 - 民宿五島 ●民宿登屋 ●民宿兼津ヶ崎荘
 - 民宿さはらし荘 ●民宿かんこう ●民宿新地
 - シーサイドペンションばらもん ●ペンションゴンハウス
 - 富江温泉センターたっしゅからんど



五島コンカナ王国「鬼島温泉」



カンパーナホテル

★さあ、「しまとく通貨」を使って過ごそう!

観光・体験・飲食にも「しまとく通貨」! 各種観光施設・体験・飲食

- 【加盟施設】
- 香珠子五島植物産館 ●福江武家屋敷通りふるさと館
 - さんさん富江キャンプ村 ●五島市商工会五之浦支所
 - 五島カントリークラブ ●五島ダイビングラグーン
 - 五島焼酎子蔵 ●NPO法人アクロス五島
 - 観光ばらもん市 ●WING五島/観光体験
- 【加盟飲食店】
- 精茶屋 ●レストランみいらく万葉村 ●心誠
 - おもむきいっぱい ●上海中華料理店 ●伊ばた焼山海
 - 真寿司 ●寿し番 ●寿司山 ●やぐら寿し
 - 福松楼 他

★旅のお土産をおすそ分け、だから「しまとく通貨」がお得!

旅の思い出も「しまとく通貨」でお買い物 物産・お土産

- 【加盟店】 ●浜口水産 ●浜口水産福江港ターミナル店 ●三井菜水産
- 道の駅遺唐使ふるさと館 ●北川海産物 ●南松海産物
 - 産直市場五島がうまい ●五島市観光協会売店 ●川崎土産店
 - 江口土産品 ●茶臼町産協組合 他



真鍋寿司



浜口水産がまぼこ



もつとひ ゆるやかな とつとつの島旅 かな大人の時間

しまとく通貨を使って半泊ショートステイ。
海岸や教会の清掃、カフェヘルプなどを通じて
地域貢献活動を体験しながら、島の半日を過ごしたい。

ゆったりと流れる「時」がある
じっくりと浸る場所がある

半泊スクールでエコライフ

堂崎天主堂から車で10分ほど。やや道が狭まった福江島の北の端に、500m四方の小さな集落、半泊がある。車で最後の角を折れ、美しい半泊浦の方へ下って行く。そこで見たのは、戸岐小学校半泊分校の古びた門の跡。廃校となった小学校の分校を活用した半泊スクールだ。教室に厨房やテーブルを入れてカフェを作り、保健室にヘッドを3台置いて宿泊所にした。学校に泊まれる施設があると思うと、それだけで何だかわくわくしてくる。

半泊集落は限界集落で、暮らすのはわずか5世帯9人のみ。庭には山羊のヤギオと栗犬のふーちゃんという仲間もいる。「ここには海、山、川、田畑の全てがあり、それぞれがきちんと整備されている。ここで生活する人々は生



半泊について語る漢口さん。

お問合せ先

五島列島ファンクラブ
http://handomari.com/
mail gotofanclub@yahoo.co.jp
☎0959-73-0480

廃校となった小学校の分校が半泊スクール。静かな半泊集落にヤギオの鳴き声が響き渡る。



- ①半泊カフェの料理例。
- ②半泊カフェでのんびりカフェタイム。
- ③半泊カフェで微笑しながら食事タイム。いつもより時間をかけて食べる。
- ④小学校の門の跡がそのまま残っている。
- ⑤学校の庫下だった場所は図書館のように向かい合ってゆっくり読書の時間もい。

きるために必要な分だけを自らの手で育て、食べる。畑ではサツマイモ、小麦、たまねぎ、じゃがいも、トマトなどを栽培し、田んぼでは米作りも行っている。ほとんどの野菜がまかなえるという。収穫した小麦で味噌を作る。天日干しの上質な天然塩を作る。島のサツマイモから「カンコロリン」という甘酒も作っている。半泊の農業は自然自給が基本だ。半泊には漁師も暮らしている。毎朝3時に起き漁に出る。メジナ、水いか、カワハギ、アジ。時には伊勢海老やウエなどの高級魚も狙う。

います。ここでとれた魚や野菜を半泊カフェで食べることで、自然とのつながり、人とのつながりを感じてもらいます」と漢口さんは穏やかに話す。時が止まったかのような廃校で漢口さんの話を聞いているうちに、心はゆったりとくるから不思議だ。

にある十字架の横の窓から緑の山が見えるのが、いかにも五島らしい。月に一度、福江から神父が訪れ、ミサも行われている。

半泊教会の建設も経済的には苦しかったはずだ。アイルランドからの浄財も建設費用に充てられ、信者も貧しい生活の中で奉仕作業に精を出した。「五島の人の祈りは深い。五島にある51の教会には、それぞれの歴史があります。建設当時の計画や信者の気持ちに思いを馳せ、教会を巡れば特別な旅になると感じます」。半泊教会のベンチに座って、漢口さんが語ってくれた。漢口さんが続ける「半泊のエコライフや昔ながらの伝統を、ぜひ日常生活で役立ててほしい。今まで気づけなかったことが輝きはじめますよ」。普通に生きるこの幸せを、半泊の大地と海が教えてくれるのかもしれない。

大地と海が伝える幸せ

半泊教会は美しい海辺に佇んでいる。潮風や台風の影響から守るため、教会正面に防風石垣を築いている。教会を大切に扱う半泊の人々の思いが伝わってくる。設計は前述の教会建築で有名な鉄川与助。外観は民家のような素朴な木造建築だ。教会内部は飾りを抑えた祭壇と白い壁面、淡い水色の柱で構成され、清らかな祈りの空間が広がっている。正面



半泊の美しい海。半泊の産物は、毎朝ここから運ばれる。



木造建築の素朴な半泊教会。現在でも月に一度ミサが行われている。



TOPIC

島の物産購入にもしまとく通貨を利用
半泊の畑でとれたサツマイモから作った甘酒「カンコロリン」。